

2014.10



シルバー こうべ

編集発行：(公財)神戸いきいき勤労財団
神戸市シルバー人材センター

〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目3-1(サンパル10階)
 ●東部センター／857-3601 ●西区センター／993-0066
 ●中部センター／521-8000 ●北区センター／596-3181
 ●西部センター／621-6880 ●本 部／252-0316
 電話番号はおかけ間違いのないようお願いします
 ホームページ <http://www.kobe-sjc.or.jp>

10月はシルバー事業普及啓発月間です まちをつくるまちがいきる地域社会の担い手

講習会受講生募集

高齢者介護力アップ研修
 高齢者生活サポート研修
 高齢者家事支援講習会

事業推進大会

日程 10月22日(水)
 時間 13:00~16:00
 会場 松方ホール

シルバーフェスティバル

日程 10月25日(土)・26日(日)
 時間 10:00~16:00
 会場 デュオこうべ

詳細・申込は、4・5頁をご覧ください

6頁をご覧ください

会員の皆さん！新規入会者の勧誘にご協力をお願いします！！

- ★お近くの友人・知人等に入会勧誘をお願いします。ご家族での参加も歓迎します。
- ★いろいろな技術・知識・特技を持った人、地域の便利屋さん、一芸に秀でた人、世話好きの人など、特色ある多様な人材(マンパワー)を増やし、地域社会への貢献と就業の拡大を目指しましょう。

生涯いきいき情報センター ~あなたの生きがいを応援します~

「社会の役に立つ活動がしたい」「趣味を深めたい、学びたい!」「もう少し働きたい」…。皆様のこのような思いにお応えするために、三宮・サンパル10階の「生涯いきいき情報センター」を平成26年10月1日から神戸市勤労会館の2階に移設しました。また、市内の各勤労市民センターに向向いて実施しております「出張相談」の相談日も一部センターで増やしました。より便利になった生涯いきいき情報センターをぜひご利用ください。

相談は無料、予約も不要です。

相談時間 平日 10:00~12:00、13:00~16:00 (土・日・祝、第3月曜日、年末年始は休)
 相談場所 神戸市勤労会館2階 中央区雲井通5-1-2 電話 078-251-2522

開催場所	相談日(毎月)	時間	住所	電話
六甲道勤労市民センター内 生きがい活動ステーション※1	常設※2 (但し就業相談は、第1火曜、 第3金曜で予約制)	9:30~18:30	灘区深田町4-1-3 9メイン六甲4階	078-857-3022
兵庫勤労市民センター	第2火曜日	10:00~12:00 13:00~16:00	兵庫区羽坂通4-1-1	078-576-0981
新長田勤労市民センター	第3火曜日		長田区若松町5-5-1	078-643-2431
垂水勤労市民センター	第2金曜日 第4火曜日		垂水区日向1-5-1	078-708-8901

※1 (公財)神戸いきいき勤労財団と認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸が協働で運営しており、地域活動、生きがい創造、生涯学習、就業に関する相談に応じています。 ※2 木・日曜、祝日、お盆、年末年始は休み。

配分金支払日のお知らせ

10月分 11月分 12月分 1月分 2月分
 11月17日(月) 12月15日(月) 1月20日(火) 2月16日(月) 3月16日(月)



ひっ こう 筆 耕 ～ 一文字一文字に心を込めて ～

神戸市シルバー人材センターでは、「筆耕」の仕事を請け負っています。筆耕とは、筆を使い、賞状、卒業証書、結婚式の招待状などを書く仕事です。登録されている会員さんは現在18名。中部センターで全市域のコーディネートを行っています。年間の受注件数は平成25年度で259件。特に12月から3月にかけては、学校や幼稚園などの卒業証書、卒園証書の依頼が多く、多忙を極めます。

最近はパソコンが普及し、筆耕ソフトも出回り、手書きの筆文字を見る機会も少なくなりました。とはいえ、お祝いや記念のイベントなどで、心を込めてきれいな筆文字を使いたいという方は、まだまだ大勢いらっしゃいます。



今回は筆耕会員のお一人、灘区にお住いの加藤喜美江さんの「職場」であるご自宅にお伺いをし、お話を聞きました。加藤さんの作業場は、フローリングの部屋の片隅を掘り込みにし、照明も天井から降りてくるように、新築の時に特別仕様でつくられたそうです。



筆耕の手順として、まず原稿をもとに各行の文章の切れ目と段取りを定めます。さらに電卓をたたきながら、字の大きさ、字と字の間隔、行と行の間隔などを計算し、レイアウトを決めます。これをもとに鉛筆で「下書き」をつくります。下からの照明つきのライトテーブルの上に下書きの紙を置き、さらに上に用紙を重ね、清書をしてできあがり。

筆につける墨も、硯で摺ったものでは濃淡ができてしまうため、墨汁をベースに黒のポスターカラーなどを、ご自身で特別にブレンドしたものをを使うとのこと。こうしてできた、速乾性があり、滲まない墨の入った「墨壺」が大切に置かれていました。

加藤さんは、もともとは「かな」が得意で、市内のデパートで熨斗紙の筆耕をしていたところ、美術画廊がつけられ、陶芸や絵画などの作家の名前を書く必要ができ、「楷書」の勉強を始められました。文化センターに通い、「賞状書士」の師範免状を取ったあとは、ボランティアで楷書を教える機会もあり、これが大変勉強になったとのこと。ただし筆耕の文字は、楷書とはいえ、ハネを抑え気味にして筆を置くなど微妙な違いがあり、注意が必要だそうです。

また、本当に良い仕事をするためには「健康」が第一。そのため、20年以上にわたり、六甲道勤労市民センターや鶴甲会館で週2～3回、卓球で汗を流しておられます。家族の理解と協力も必要です。自治会長をされているご主人とはまさに二人三脚。特に読み合わせにご主人の協力は欠かせないそうです。

「筆耕の仕事が来ると元気になります。自分でもよほど好きなんだなあとします」。笑顔でこうお話になる加藤さんを通して、今回は筆耕の仕事に脚光を当ててみました。



人生遊歩 シルバーを楽しく

西部センター

日々仲間とともに歩む

今回は平成11年9月に入会し、須磨区の地域貢献班の班長としてご活躍の田畑勝啓（76歳）さんを紹介します。

神戸生まれの田畑さんは、戦争で父親を亡くされたので、終戦直後の小学校3年生のときに父親の故郷である奄美大島の沖永良部に引越をし、中学校3年生まで過ごしました。神戸という都会から来たということもあって同級生からは一目置かれ、自然と中心となり皆と馴染んだそうです。中学校を卒業すると、神戸に単身で戻り昼間働きながら夜間は高校に通いました。16歳から勤め60歳の定年まで44年間、仕事一筋に働く。とはいっても会社の保養施設を利用して同窓会など種々のお世話をしていたそうです。

平成11年6月に退職。久しぶりに故郷に帰って魚釣りなどして過ごすが、2週間ぐらいで飽きてしまい、再び神戸に戻って来られました。戻ってもすることもない。そんなときにシルバー人材センターの存在を知り、同年9月にシルバーの会員になりました。シルバーの就業としてスタートしたのは駐輪場でした。しばらくしてリーダー制度を有する駐輪場の指定管理者に変わり、リーダーとして2年間勤めました。次に配布の仕事をするようになり配布の連絡員を任されました。その後須磨区の地域貢献班ができる時、班長をしてくれといわれて班長を引き受け今日に至っています。

地域貢献班の活動で心がけていることは、人とのつながりを大切にしているそうです。特に人数を要する仕事の依頼がある場合、周囲に何人かの人とのつながりがないと難しい。そのため普段から仲間作りをしておくことだといいます。日ごろから親睦会みたいなものをやりながら会員同士の交流をする。また、シルバーのほか自治会とか公園管理会など地域の活動に参加するなか人とのつながりを築くそうです。シルバーから仕事の依頼があれば、自ら仕事をしなくても事前に下見に行くなどして会員のために仕事をまとめあげるように努めているといいます。地域貢献班で仕事をするのは地域に貢献できることなので、もっと地域に貢献できるようPRしてほしいと望んでいます。

シルバーの仕事をして一番嬉しいのは、ご苦労さん・お疲れさんと、声を掛けてくれること。ところが配布のとき、特にチラシの場合、たまに「もって帰れ！」という人がいる。その場合、「持って帰りますね」といって逆らわないことだといいます。またシルバー会員になって良かったことは、カレンダーや時計を見て一日のスタートをきり、目的があり、待ってくれる人がいること、生きた情報がもらえることだといいます。

仕事一筋だった現役時代と違い、退職後はシルバー会員としての活動だけでなく、地域活動にも積極的に参加しているそうです。また、神戸市老人体育大学同窓会フォークダンス部（月3回火曜日）に入部して12年余参加しています。そのほか、神戸市老眼大学や神戸女子大学公開市民講座などにも毎年受講をしているそうです。最近、足が少し弱くなったため参加していませんが、以前はウォーキングの各種イベントにも積極的に参加していたとのこと。

退職後、様々な活動をしていることもあり、現役時代には付けていなかった日記を毎日、手帳に付けているそうです。日記を書くことで一日を振り返ることができる。特に仕事を終え帰宅後、一日を振り返り色々反省しながら次の仕事につなげているといいます。

世話好きな田畑さん。いまでも高校のOB会や昔の仕事仲間などに声を掛け連絡をとって集まるそうです。日々何かをしている田畑さんですが、気が休まるのは、子供たちが孫を連れてきて一緒に食事しながらワイワイするときだといいます。

田畑さんをみますと、「明日死ぬかのように生きよ、永遠に生きるかのように学べ」（マハトマ・ガンジー）の言葉にピッチリな生き方をしておられ、実に人生を楽しんでおられます。



受講料
無料

受講生募集!!

高齢者の経験を地域社会に活かしましょう!

神戸市シルバー人材センターが実施する地域人づくり事業 — 高齢者介護力アップ研修

高齢者の経験と知識をパワーアップして地域社会に活かしましょう!!
認知症予防や腰痛予防・健康づくりにも役立つ研修です。

研修内容

11月 7日(金)	10:00~12:00	●開講式 ●オリエンテーション ●介護・対人援助の基礎知識
	13:30~16:30	●介護予防について
11月 12日(水)	10:00~12:00	●認知症予防について
	13:30~16:30	●腰痛予防、健康体操など介護実習
11月 13日(木)	9:00~12:00	●基本的な介護技術実習 (車いす移動歩行、衣服脱着など)
11月 20日(木)	13:00~17:00	●家事援助サービスの基本視点 ●DVD視聴ほか ●閉講式

受講対象者 60歳以上で就業意欲があり、全日程出席できる方。

会場 新長田勤労市民センター別館ピフレホール 3階 (JR・地下鉄新長田駅、駅南側徒歩1分) ※11月20日(木)のみ神戸市勤労会館4階で開催 (JR・各線 / 三宮駅から東へ徒歩5分)

参加定員 20名

申込方法 締切：平成26年10月22日(水) ※当日消印有効
電話・ハガキ・封書・FAX・Eメールのいずれかの方法で、『高齢者介護力アップ研修』受講申込と明記の上、必要項目(①氏名②フリガナ③郵便番号④住所⑤電話番号⑥性別⑦年齢⑧シルバー会員は会員No)ご記入の上、お申込み下さい。
※申込み多数の場合は選考とし、選考結果を10月29日(水)までにご連絡致します。

申し込み・お問合せ

神戸市シルバー人材センター／地域人づくり事業 担当/フルヤ 古家 まで
〒651-0096 神戸市中央区雲井通5-3-1
TEL: 078-252-0316 FAX: 078-241-9114
Eメール: kobe-sjc@siren.ocn.ne.jp

兵庫県シルバー人材センター事業推進大会

日時 平成26年10月22日(水) 13:00~16:00

場所 神戸新聞情報文化ビル 4階 松方ホール

内容 ●シルバーの会員・職員・安全就業等の表彰式
(神戸市シルバー人材センター会員も表彰されます)

●事例発表 芦屋市シルバー人材センター会員 ~傾聴サービスについて~

●講演 (公財)ダイヤ高齢社会研究財団 研究部長 石橋 智明

●パネル展示「兵庫県シルバー人材センターのあゆみ」

申込不要
参加費用無料です。
ご来場の方、全員に
粗品進呈!



高齢者生活サポート研修

兵庫県シルバー人材センター協会では、60歳以上の高齢者の生活をサポートするため、知識や技術向上を目的とした「高齢者生活サポート研修」を実施いたします。

研修日程・内容(予定)

回	日付	時間	講座名
1	11月10日(月)	13:00~16:45	●開講式 ●オリエンテーション ●「認知症」の理解と接し方 ●感染症と手洗い実習
2	11月11日(火)	13:30~16:30	●普通救命士コース1(AEDの使い方等)
3	11月13日(木)	13:00~16:30	●家事援助における清掃の基礎知識
4	11月17日(月)	13:00~16:30	●調理実習「かんたんレシピを楽しむ」
5	11月18日(火)	13:00~16:30	●マナー講座～接客その他～
6	11月19日(水)	13:00~16:00	●整理・整頓「収納場所を徹底研究」 ●高齢者のコミュニケーションを考える ●閉講式

定員 15名

会場 神戸市立六甲道勤労市民センター 神戸市灘区深田町4丁目1番39号

募集対象 ①60才以上で ②就業の意欲があり ③全日程出席できる ④兵庫県内在住の方

申込方法 申込期限：平成26年10月27日(月) ※当日消印有効

受講ご希望の方は、①お名前、②フリガナ、③郵便番号、④住所、⑤電話番号、⑥性別、⑦年齢、⑧シルバー会員/非会員の別ご記入の上、ハガキ・封書・FAX・Eメール・ホームページのいずれかにてお申し込み下さい。申し込み多数の場合は選考とし、選考結果は11月4日(火)までにご連絡致します。

申し込み・
お問合せ

神戸市シルバー人材センター 〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目3番1号 新分野研修係
FAX: 078-241-9114 Eメール: kobe-sjc@siren.ocn.ne.jp
ホームページ: <http://silverpower.jimdo.com/>
お問合せ電話: 078-252-0316 担当: 西村・島田まで

神戸市シルバー人材センターが実施する シニアワークプログラム地域事業技能講習 高齢者家事支援講習会

高齢者の雇用・就業の確保を促進する目的として、地域の事業主団体等の参画のもと、ハローワークの協力を得て、雇用・就業を前提とした技能講習会(座学・実技)を実施します。講習最終日には就職面接会を開催し、受講生の就職・就業を支援します。

研修内容	11月10日(月)	11月12日(水)	11月14日(金)	11月18日(火)	11月19日(水)	11月21日(金)	11月25日(火)	11月27日(木)
	開講式、介護保険制度の知識	調理実習	対人援助サービスの基礎知識	家庭内掃除の基本的な知識	市民救命士講習	就職面接講習	認知症について 健康運動の習慣	より良い生活支援のための 「目くばり、気くばり、思いやり」

研修場所 神戸市勤労会館：11月10日(月)・14日(金)・18日(火)・19日(水)・21日(金)・25日(火)・27日(木)
こうべ市民福祉交流センター：11月12日(水)

定員 18名

応募資格 55歳以上の求職中の方で、ハローワークに求職登録をしている方

受付締切 10月28日(火)【必着】

申込方法 ①兵庫県シルバー人材センター協会のホームページ URL: <http://www.hyogo-silver.jp> から受講申込書をダウンロードして、Eメールで申し込んでください。
②ハローワーク、シルバー人材センターで申込書を配布しています。

選考方法 選考面接会を平成26年11月6日(木)9:30~神戸市勤労会館 3階で行います。
※定員未充足のため開催されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お問合せ 電話: 078-252-0316 担当: 向まで

これからの社会を支えるシニア人材の宝庫

兵庫県内シルバー人材センター及び所属会員がお届けする

シルバーフェスティバル

10/25^土・26^日 時間 10:00~16:00
会場 「デュオこうべ」デュオドーム

神戸市シルバー人材センター会員多数出演!

シルバーの方が、特技、
技術を披露します。

シルバーパワーステージ

10/26日 ①13:00~13:30
②15:00~15:30



GIN COLLE
キンコレ

シルバー世代の代表によるファッションショー

シルバーコレクション(銀コレ)

10/25日 ①13:00~13:30 ②15:00~15:30



ミシン工房
WAFU de 小物など
手作り小物販売

10/25日・26日
10:00~16:00



お餅つき大会

10/25日・26日
①10:30~11:00
②14:00~14:30



G&B農園など 新鮮野菜販売

10/25日・26日
10:00~16:00



仕事の実演

刃物研ぎ・障子、襖張替他

10/25日・26日
10:00~16:00

※兵庫県内シルバー人材センター
では、上記以外にも様々な
仕事を請け負っております。
お気軽にお問い合わせ下さい。



お楽しみ抽選会

10/25日・10/26日
10:00~16:00

1,000円以上お買い上げの方が
ご参加いただけます。

空くじなし



※イベント内容、各プログラムの時刻は変更になることがあります。

〈会場〉「デュオこうべ」デュオドーム

〈アクセス〉

JR神戸駅、神戸市営地下鉄海岸線ハーバーランド駅
神戸高速鉄道高速神戸駅

〈お問い合わせ〉

Tel. 078-371-8012

公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会シルバーフェスティバル事務局

〈主催〉公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会
兵庫県内全34シルバー人材センター



神戸市シルバー人材センター 会員・発注者表彰を行いました

9月3日（水）第29回いきいきシルバーのつどいにおいて、永年にわたり、シルバー人材センター事業の発展に貢献された会員の皆さま、発注者さまに対して感謝の意を表するため、表彰を行いました。

会員表彰

- 田中 孝道 様
- 西神中央駅前西駐輪場管理人一同
- 本田 武久 様
- 小畑 泰男 様 片山 直 様 小林 敏信 様
- 濁池 良一 様
- 酒井 攸治 様 林 信雄 様 林 康男 様
- 馬形 勝志 様 森本 利昭 様 高木 良明 様

発注者表彰

- 株式会社グリーンホスピタリティーマネジメント
しあわせの村営業所 様
- 社会福祉法人 神戸新生福祉会 様
- 農事組合法人 西戸田生産組合 様（所用により欠席）
- 株式会社北六甲 北六甲カントリー倶楽部 様



〈 会員表彰 〉



〈 発注者表彰 〉



〈 駐輪場管理人一同 〉

第29回「いきいきシルバーのつどい」大盛況！

～紙ふうせんのお二人が『冬が来る前に』を熱唱～

9月3日（水）に当財団の主催で「いきいきシルバーのつどい」を神戸文化ホール大ホールで開催しました。今回は団塊の世代が65歳を迎える最後の年であることから「団塊世代よ、永遠に！」をテーマに、団塊世代であるフォークデュオの紙ふうせんのお二人を迎え、歌とトークで団塊世代を懐かしい青春時代に誘って頂き、約1,500名の方が楽しいひと時を過ごされました。



結成40周年と同時に結婚40周年のお二人に夫婦円満の秘訣をお聞きしたところ、「会話のキャッチボールが大切。若いころはハートで伝わる部分もあるけれど、年齢を重ねれば重ねるほどお互いに言いたいことをしっかり伝えることが必要。」とのこと。

お二人のトークの後は、「冬が来る前に」、 「翼をください」などの大ヒット曲を披露、懐かしい歌の数々に同世代の観客から大きな拍手が送られました。

安全パトロールを実施しました!

7月22日(火) 会員安全就業推進委員会による安全パトロールを垂水区学びが丘団地と同じ垂水区のマリンピア神戸「さかなの学校」で行いました。それぞれの現場では除草作業を見学し、その作業内容について、委員全員で点検しました。

なお、シルバー人材センターでは、このような全体パトロール以外にも各センターにおいて自主的にパトロールを行っております。

- 東部センター：除草作業
- 西区センター：除草作業
- 中部センター：剪定・除草作業
- 北区センター：除草作業
- 西部センター：除草作業



《 ヒヤリハット 活かした作業に 事故はなし 》

今年の8月末の時点で、事故の発生件数は38件とされており、このうち、傷害事故は29件、賠償事故は9件となっています。

傷害事故については、対前年度の同じ時期と比較しますと11件増えています。事故の主な要因は清掃作業中の転倒等が8件、除草・剪定作業中の怪我が7件、蜂等の虫刺されが4件ありました。

一方、賠償事故については、対前年度と比較しますと2件減少していますが、除草・剪定作業における事故が

4件あり、賠償事故全体に占める割合は44.4%と高い割合になっています。それぞれの事故の共通点は、作業前の確認や作業中の注意により防げるものが多く、今後とも、足元や手元の安全確認や作業手順の再確認を行なうなど、普段からの心構えが大切です。

なお、事故を起こしたり、事故に合われたりした場合には、速やかに各センターの担当コーディネーターにご報告ください。保険等の手続きのご案内をいたします。

シルバー会員が人命を救助!

坂井秀司さん (東部センター所属)

今年の4月15日、坂井秀司さんは、六甲道勤労市民センターでの就業中、心肺停止の状態となった体育館ご利用者の方の人命を救助されました。

坂井さんは、同センター職員の坂本覚さんとともに、ご利用者の方に心臓マッサージを行うとともに、AEDによる救命措置を施され、これにより、ご利用者の方は、救急搬送された後に無事回復をされました。

坂井さんの的確な判断と迅速な対応は、シルバー会員の模範となるものであることから、7月16日、神戸いきいき勤労財団の竹中理事長より、表彰状と記念品を贈呈しました。表彰状贈呈の際には、竹中理事長より坂井さんに、「市民救命士講習会の成果を活かし、また安全で安心な勤労市民センターの運営のために、日々研鑽を積まれていることに深く感謝します。」という言葉もお贈りしました。これからもご活躍ください。



坂井さん(左から2人目)

西区センター

第3回 会員交流会の開催

25年1月西神中央地区在住の会員対象に第1回交流会を、25年11月には、西神南地区と研究学園都市地区在住の会員対象に第2回交流会を開催してきました。

26年7月の第3回会員交流会は、玉津・伊川谷地区在住の会員交流会をプレンティホールで開催しました。

当日、会員46名が参加し、会員同士の自己紹介に続き、前回の会員交流会でも好評の栗木剛先生（motto兵庫事務局長）の講演「人生！今が青春」福田章先生（認知症予防サポートネット代表）による交流イベント・「脳トレゲーム（思いでカルタ）」を行いました。

多くの会員の皆さんから好評の感想をいただきました。

開会のあいさつ



テーブルごとに自己紹介



人生、今が青春



思いでかるた



シルバー人材センターの自主事業支援制度を活用した会員グループによる自主運営

G&B農園

会員募集

～タッチアース～

あなたも、広々とした大地(農園)のもとで野菜栽培を楽しんでみませんか！

安全安心の特別栽培(栽培期間中節減対象農薬不使用)です。

神戸市シルバー人材センター会員

連絡先：事務局 山根

携帯TEL：080-4099-8380 Mail：yd1810ky@air.zaq.jp

農園場所：神戸市西区平野町芝崎国道175号線芝崎交差点西へ徒歩3分

芝崎在住 キジ君



センター
だ・より

西部センター

西区の農業を支えるシルバー会員

農家も期待

～ 野菜、果樹収穫はまかせて ～

神戸は観光以外でも野菜や果物で全国的によく知られる「都市近郊農業」の本場。その多くが西区に集中しています。しかし、最近では農家の高齢化もあって収穫作業などをシルバー人材センターに依頼するケースが増えてきました。今、野菜畑や果樹園で就業するシルバー会員は約100人。農家のみなさんから大変頼りにされています。会員の多くは家庭菜園を持ったり農業に関心のある人。働きぶりを紹介します。

ぶどう園

平野町の広大な丘陵地に広がる西戸田生産組合の園。一年を通じて数人の会員が就労しているが、8月、9月には約30人がワイン用ぶどうの収穫作業にあたる。たわわに実った房は会員がていねいにハサミで切りコンテナ箱に。西区内の醸造所に運ばれ「神戸ワイン」に。今年は初めて女性2人が加わった。暑い日差しの中だが高原を吹き渡る風が心地よい。収穫作業は近くの園でも行われており、印路生産組合の安尾代表理事は「シルバーのみなさんのおかげで無事収穫の目標が果たせるでしょう」と話していました。



いちじく園

岩岡町、神出町一帯には沢山のいちじく畑があり、数か所で約20人が就業。高野農園では9月にかけて収穫に忙しい。野鳥などの侵入を防止するため全体を網で覆った畑には高さ2mを超える木がずらりと並ぶ。収穫はその間をゆっくり歩きながら熟した状態を確認めながらもぎとります。強くにぎると傷みが早い果物なので慎重、かつていねいに。

トマト園

平野町の畑に並ぶ広いビニールハウス。8月の内部は高温、高湿度。汗だくになりながら会員の青木龍夫さん(69)は赤くなりかけたトマトをハサミで切り取っていく。高さ約2mのトマト木が一行75mもあるジャングル内で週数日、3～4時間の作業。冬も栽培するので就労は年中。苗づくりもします。青木さんは「オーナーさんからまかされているのでつらくはありません」と笑顔。



ナシ園

押部谷町の広大な高和生産組合のナシ園。8月から9月にかけての収穫には10人ほどが就労、収穫袋を肩にかけ、ハサミで切ったナシを入れていく。重い袋を抱えての作業や運搬は大変だが園内に漂う甘い香りに癒される。会員の河野耕治さん(69)は「農家の高齢化などでシルバー会員への期待は大きい」と話します。

そのほか キャベツの植え付け、ネギ、いちご、ホウレンソウ、チンゲンサイの収穫、花苗植え付け、シイタケ栽培、柿、ミカン、キウイ、ブルーベリーの収穫、桃の袋掛けなどがあります。また、精米、牧場での牛の世話や植樹用のドングリ育苗もあり、会員の活躍は農業分野で次第に広がりを見せています。

